

加賀美 常美代 / KAGAMI, Tomiyo

文化科学系 / 文教育学部グローバル文化学環 / グローバル教育センター

<http://www.dc.ocha.ac.jp/comparative-cultures/jle/kagami/index.html>

#### ■ 研究者情報

連絡先

Email: [kagami.tomiyo@ocha.ac.jp](mailto:kagami.tomiyo@ocha.ac.jp)

専門分野

異文化間心理学、コミュニティ心理学、異文化間教育

#### ■ 研究成果情報

### 異文化間コンフリクト解決のためのプログラム開発

#### キーワード

異文化間コンフリクト、文化的価値観、教育価値観、葛藤解決、留学生支援

#### 研究内容

##### ■ 概要

異文化接触で生じた対人葛藤の原因と解決行動を解明するとともに、心理学的知見を応用し現場のトラブル解決、教育、交流、相談支援活動に取り組んでいます。

##### ■ 研究事例

- 1) 異文化間コンフリクトの原因帰属、解決行動に関する研究
- 2) 文化的価値観・教育価値観の国際比較、世代間比較の研究
- 3) コミュニティアプローチによる留学生支援、異文化間のメンタルヘルスの研究

##### ■ 潜在可能性（応用・将来展望）

- 1) 多文化間の葛藤解決プログラム、マニュアルの開発
- 2) 国内外の企業及び教育機関の異文化理解プログラム開発への応用
- 3) 国際結婚、海外赴任家族の予防的プログラム、コンサルテーション

##### ■ おもな研究業績

- 100のトラブル解決マニュアル調査研究グループ編 共著, 異文化理解のための外国人留学生の100のトラブル解決マニュアル, 凡人社, 1996年3月
- 加賀美常美代・箕口雅博・瀬口郁子・奥田純子, 阪神・淡路大震災における被災外国人学生の支援活動と心のケア, ナカニシヤ出版, 1999年3月
- 加賀美常美代, 多文化社会における葛藤解決と教育価値観, ナカニシヤ出版, 2007年3月
- お茶の水女子大学特別教育研究経費事業「コミュニケーション・システムの開発によるリスク社会への対応(CSD)」異文化間コミュニケーション・プロジェクト(代表: 加賀美常美代) 発行 「2006-2009年度『韓国と台湾における小学生・中学生・高校生・大学生の日本イメージの形成過程と規定要因』報告書」 2010年3月
- お茶の水女子大学特別教育研究経費事業「コミュニケーション・システムの開発によるリスク社会への対応(CSD)」異文化間コミュニケーション・プロジェクト(代表: 加賀美常美代) 発行 「2009年度『奈良世界遺産から学ぶ異文化理解教育研修』報告書」 2010年3月
- 加賀美常美代, 「第11章 大学キャンパスにおけるコミュニティアプローチによる留学生支援」, 箕口雅博編, 臨床心理地域援助特論(07 放送大学大学院教材), 日本放送出版協会, 161-176, 2007, 3月

#### 特許・著作物等の知財情報、製品化情報、あるいは社会貢献実績

・異文化間教育学会常任理事、日本コミュニティ心理学会常任理事、多文化間精神医学会理事、上記の学会関連の公開シンポジウム、企画等

#### 産学官・社会連携の可能性

■ 共同研究、公開講座、ワークショップ等の実施、出版、など可能です。

グローバル  
文化

異文化間  
コンフリクト

文  
グ  
ロー  
バル  
化